

名人

〔諸家系圖纂佐々木高氏京極〕

母京極宗綱女略中 貞治六三廿三會新玉津島歌合香會茶道長人應安六八廿五卒六十八歲佐渡守使從五位下法名道譽號勝樂寺

〔本朝世事談綺三藝〕香道

應永のころ京極入道道譽一木を好みて軍旅國務のいとまをたのしめり文龜のころ香道に深

き人は相阿彌 宗信志野三郎 行二二階 長秀松田丹 兼直肥山 元種内藤 祐憲志野

盛郷波々伯部 肖柏夢庵 是等の人香道者なり

〔香道千代の秋上〕香道宗匠

京極佐渡判官入道道譽 慈照院義政公東山殿と云是なり 志野三郎右衛門宗信尊氏十一世義澄將軍の比の人なり

志野彌三郎宗温宗信の子名は祐齋 志野彌次郎省巴宗温の子不寒齋 建部隆勝近江の武士信長公時

守 坂内宗拾隆勝の弟本名杉本彦右衛門 道甫入道宗拾の弟 仙同院僧日對立本寺住僧

芳長老相國寺僧號集 本阿彌光悅宗拾の弟 秋葉公庵宗拾の弟 裏辻周庵宗拾の弟 十四屋佐兵衛大津

以上六人 米川常伯俗名小紅屋三右衛門號一任

宗信時代連中

肖伯夢庵と云號 玄清歸牧庵と云 大碓咲山軒 行二二階堂 長秀松田丹後 兼直肥田左京

元種内藤大藏 盛郷波々伯部兵

右は宗信香合の連中にて宗信にをしならぶ宗匠なり其外香を好し人ありといへども宗匠と云べき人は是等なるべし

香具

〔倭名類聚抄十二〕薰爐 漢劉向有薰爐銘薰爐比 薰籠 方言注云火籠多岐毛 今薰籠也